週刊ウイングトラベル WING TRAVEL WEEKLY

昭和44年6月10日 第3種郵便物認可

No.2399

毎週月曜日発行：1部324円（消費税込）1年間12,960円（消費税込）●国土交通省交通運輸記者会加盟

発行所/航空新聞社 The WING Aviation Press ●〒107-0052 東京都港区赤坂4-8-6 赤坂余湖ビル3階 ●TEL 03-3796-6646 FAX 03-3796-6645

www.jwing.net
mail@jwing.net

増刊号 2017.8.21

クルーズ特集

Cruise

CONTENTS

page 2… 総論　クルーズ新時代到来～官民一体でクルーズ振興強化へ
3… 外国クルーズ船の日本発着クルーズが続々と決定
4… MSCクルーズ
5… キュナード・ライン
6,7… コスタクルーズ
8,9… ㈱ターミナル
10… 旅行会社に聞く
―― クルーズ商品のトレンド、戦力は？
11,12… プリンセス・クルーズ

クルーズ新時代到来
官民一体でクルーズ振興強化へ

日本のクルーズマーケットがいま、新たな時代を迎えようとしている。クルーズ利用の訪日客増加や大型客船の相次ぐ寄港で、港湾整備が進んでいるほか、受け入れ環境の強化が進められているためだ。今年からは自治体と船会社が一体となって、クルーズ船を受け入れるためのターミナル整備が本格的にスタート。今後クルーズを真に楽しむことができる港が日本国内に続々と誕生することになる。さらに、海外の旅客が日本を魅力的な寄港地として捉え始めていることから、外国の客船が続々と日本を母港とするクルーズを相次いで企画。外国人だけでなく、日本人旅客を受け入れようとさまざまなアイデアで、クルーズファン作りに乗り出している。日本人のクルーズ人口はここ数年20万人前後で推移していたが、2018年以降はこの流れに新たな動きが見られる可能性が強そうだ。

国土交通省がこのほど取りまとめた「2016年の我が国のクルーズ等の動向について」によると、2016年のクルーズ人口は前年比12.4％増の24万8000人となり、過去最高の実績となった。外国船社による日本発着の外航クルーズが増加したことが大きく寄与した。また、クルーズを使った訪日旅客数は前年比78.5％増の199万2000人と200万人目前まで迫る状況となるなど、日本人、外国人とも大幅なプラスとなる結果となった。

2016年の日本人クルーズ客 過去最高24.8万人
訪日クルーズ旅客も200万人に迫る勢い

16年のクルーズによる外国人訪問客は200万人に迫った

内訳を見ると日本船社の乗客数が2.0％増の1万人、人泊数は48.9減の10万9000人泊だった。外国船社は乗客数が16.6％増の14万4000人、人泊数は6.3％増の107.9万人泊となり、外国船社の伸びが目立った。

日本船社による国内クルーズ人口は乗客数が7.6％増の9万4000人。人泊数は1.7％減の23万2000人泊となった。

日本人のクルーズ人口は2014年から2年連続で減少していた。しかし、2016年は外国船社による日本クルーズの本数が大幅に増加した。外国船社による日本発着クルーズが大きく伸びた理由が、クルーズに対する意識の変化だ。

もともと、日本人はクルーズに対して高級なイメージを持っていた。しかし、最近は手頃な料金で参加できる商品が増えてきたほか、船もカジュアルからラグジュアリーまで、幅広いカテゴリーが用意されている。このため、利用者層が従来のシニア層中心のものから、ファミリーやカップルなど裾野が広がりつつある。

一方で、クルーズによる外国人訪問客は右肩上がりで上昇している。2015年に初めて100万人を突破したが、早くも2016年には200万人目前まで迫ってきた。

この状況を牽引するのは、やはり中国市場だ。中国人旅行者を乗せたクルーズ船は今年に入り、日本各地の港に相次いで寄港している。以前の「爆買い」のような勢いはないものの、中国人旅行者によるショッピング需要は引き続き旺盛なものがある。このため、大きな荷物を持たずに日本国内を移動することができ、なおかつ観光することができるクルーズ船での旅行を好むケースが増加。この流れが寄港数に比例されているといっても過言ではないだろう。

そうして、日本人、外国人とも堅調に推移するクルーズ市場だが、2018年以降もさらなる飛躍が期待できそうだ。

その流れを呼び起こしそうなのが、官民一体となったクルーズ船を受け入れるための港湾整備と日本の祝祭日の日並びだ。

2020年、 訪日クルーズ500万人実現へ
政府と船会社による港湾一体開発進む

日本政府は昨年策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」の項目のひとつとして、2020年にクルーズによる訪日外国人旅行者数を500万人まで引き上げる目標を策定。これを実現させるために国際クルーズ船の受入整備体制の強化に乗り出した。

この取り組みの第一弾として7月に横浜港（神奈川県）、清水港（静岡県）、佐世保港（長崎県）、八代港（熊本県）、本部港（沖縄県）、平良港（同）の6港を「国際旅客船拠点形成港湾」として指定した。

今回の国際旅客船拠点形成港湾の指定は7月8日に改正港湾法が施行されたことを受け行われたもの。改正法では、短期間で効果的な国際クルーズ拠点の形成を図るため、国土交通大臣が指定する港湾において、旅客ターミナルビルなどに投資を行うクルーズ船社に岸壁の優先的な使用を認める新制度を創設した。

この新制度に基づき、日本の郵船クルーズは横浜港に、米国のカーニバルコーポレーションは横浜、佐世保、平良港に、香港のゲンティン香港は清水港と本部港に、米国のロイヤル・カリビアン・クルーズは八代港にそれぞれ投資することを決定した。

ある船会社の関係者は「これから日本のクルーズ市場が発展するためには、やはり大型船とそれに乗ってやってくる旅客をいかに円滑に受け入れられるかがカギになる」と指摘する。

今回の政府の取り組みでは、旅客の受け入れを行うターミナルビルへの投資を民間企業が行うことになる。そのため、それぞれの船会社が乗船客を受け入れやすいような環境を作り出すことが可能となりそうだ。

一方、今回認定された港湾をかかえる自治体側にとっても地元の観光客誘致する上で一度に数百人から数千人の旅行者がやってくるクルーズ船の存在は、観光振興や地元への消費拡大の面から、大きな期待を寄せている。そうしたことから、投資を行う船会社に対する協力体制を惜しまないほか、クルーズ船客がスムーズに観光に出られるよう観光バスやタクシーをはじめとした二次交通関連の環境向上に取り組み、クルーズを柱とした街の賑わいを創出していきたい考えだ。

前出の船会社関係者は「日本の港湾は魅力的な観光地が近くにある場所が多いので、受け入れ体制が整えば、さまざまな寄港地観光企画を用意することができそうだ」と話す。今回の6港を皮切りに今後、国際旅客船拠点形成港湾が整備されれば、いままで以上にバラエティに富んだクルーズ客船の寄港や観光メニューが造成されることが期待され、日本を舞台とした魅力的なクルーズの実現が可能となりそうだ。

大型クルーズ船の受け入れ体制は年々整備されつつある

来年の大型連休は クルーズ旅行向きの日並びに
国内旅行＋αの旅行スタイルの提案も可能

一方、日本人旅客にとって来年はクルーズに触れる機会が高まりそうだ。特に5月の連休が日並びが良く、時間を作ることができそうだからだ。

日本人とクルーズを取り巻く環境を語る上で大きな課題となってくるのが休みの問題だ。本格的なクルーズを楽しむためにはおおよそ1週間くらいの行程が最適とされている。来年のゴールデンウィークはこうしたクルーズを満喫できる旅程を比較的確保することが容易といえそうだ。そうした中で旅行会社にとっては、国内旅行を計画している旅行者に対して、国内の周遊に一カ国海外滞在を組み合わせるようなクルーズ商品を提案するうってつけの機会といえるのではないだろうか。

日本人旅行者にとってもクルーズ船に触れる機会は今後高まりそうだ

すでにこの時期には、多くの集客が見込めそうであることから、日本初登場のクルーズ船をはじめ多くのクルーズ船社が、旅行会社とのチャーターや自社運航でクルーズの実施を予定している。来年は、こうしたクルーズ船に乗船して、いままでとひと味違った国内旅行を楽しむというのもおもしろいかもしれない。

もちろん、海外まで飛行機で移動して、クルーズを満喫することも十分に可能だ。

今後日本人がさまざまな形でクルーズに触れる機会が増えることが予想される。そうした流れの中で、日本人クルーズ人口が2016年以上の伸び率を示すことになるのか。また、クルーズ利用の訪日外国人は政府の狙い通り、500万人に近づけることができるのか、クルーズを取りまくこれからの動向が注目される。

「国際旅客船拠点形成港湾」指定式の模様

クルーズ特集2017 Cruise Special 2017

外国クルーズ船の日本発着クルーズが続々と決定

個性的な客船で、バラエティに富んだ船旅提案

訪日外国人旅行者数が2000万人を大きく超える中で、外国のクルーズ船を利用して日本を訪れる人も増えている。この流れを契機として、海外の船会社は日本人にもクルーズ船の魅力を体感してもらおうと相次いで日本の港を発着点とする航路を相次いで設定してきている。今年秋から2018年、2019年と海外船社による日本人旅行者向けのクルーズが企画されている。現時点で計画されている商品を一部ではあるが、紹介していこう。

MSCクルーズ「MSC スプレンディダ」

スケジュール　2018年5月6日～15日
寄港地　横浜、伏木富山、金沢、舞鶴、釜山、鹿児島、高知

イタリアを起点とした地中海クルーズを中心に展開するMSCクルーズが2018年5月に横浜発着で初の日本発着クルーズを実施する。5月の新緑の時期に韓国・釜山と日本の6つの都市を周遊する。船内では6つのレストラン、17のバーを擁し、イタリア料理、地中海料理を用意。イタリア客船ならではのグルメとフレンドリーなサービスを堪能することができる。

乗客定員は4363人。9タイプの客室が用意されている。

MSC スプレンディダ

キュナード・ライン「クイーン・エリザベス」

スケジュール　2019年4月19日～28日、28日～5月5日
寄港地　横浜、函館、秋田、金沢、境港、釜山、八代、広島、長崎

クルーズ客船の「代名詞」といえるクイーン・エリザベス。2017年、2018年はワールドクルーズの一環として、神戸、大阪発着のクルーズを実施。ただ、2019年はひと味違う展開となる。単独で日本発着クルーズを展開することが決定したからだ。

2019年クルーズは横浜発着で2本のクルーズを運航する。2017年、2018年のクルーズはいずれも発売直後に完売。2019年クルーズは日本近海の行程のため、日本マーケットにも多くの在庫が当てられることになりそうだ。

乗客定員は2092人。客室は15タイプが用意されている。

クイーン・エリザベス

コスタクルーズ「コスタ ネオロマンチカ」

スケジュール　2017年10月～2018年3月まで3コース12本運航
寄港地　東京、名古屋、神戸、鹿児島、済州島、基隆、奄美大島、那覇、宮古島

昨年から日本海側を周遊する日本発着クルーズを展開しているコスタクルーズ。今年からはハイランク客船の「コスタ ネオロマンチカ」を投入した。今年は日本海クルーズに加えて、新たに東京・晴海ふ頭から出港する太平洋クルーズを展開する。

船内には6つのレストランや4400㎡の巨大なスパエリアを完備。モダンなラグジュアリーホテルに滞在しているかのような印象を与える船内となっている。

最大集客定員は1800人、6タイプの客室を用意している。

コスタ ネオロマンチカ

シルバーシー・クルーズ「シルバー・ミューズ」

スケジュール　2019年4月16日～29日、29日～5月12日
寄港地　東京、鹿児島、佐世保、釜山、舞鶴、青森、函館

米国のシルバーシー・クルーズは今年4月に就航したばかりの新造船「シルバー・ミューズ」で日本発着クルーズを実施する。

2019年4月～5月にかけて13泊14日のクルーズを2本運航する。同船はすべての客室が36㎡以上となっており、広々とした空間で日本周辺のクルーズを楽しむことができる。小型客船ながら8カ所のダイニングを用意。幅広い選択肢の食事を楽しむことが可能だ。

乗客定員は596人。客室は7タイプ用意されている。

シルバー・ミューズ

スタークルーズ「スーパースターヴァーゴ」

スケジュール　2017年9月～10月まで9本運航
寄港地　横浜、清水、鹿児島、上海、大阪

ゲンティン香港グループのスタークルーズが実施するクルーズは「ゴールデン・シールート」と銘打ち、日本と中国の主要観光地を網羅したクルーズとなっているのが特徴だ。使用するスーパースターヴァーゴは、数あるクルーズ船の中でも高速で運航できるのが大きな特徴。日本と上海を往復しながら7泊8日のクルーズを実現した。また、よしもとクリエイティブエージェンシー所属の人気芸人が登場するライブイベントも注目すべき企画の一つだ。

乗客定員は1870人。6タイプの客室を用意している。

スーパースターヴァーゴ

プリンセス・クルーズ「ダイヤモンド・プリンセス」

スケジュール　2018年4月～2019年3月まで21コース、38本運航
主な寄港地　高知，酒田、那覇、広島、小樽、韓国、台湾、ロシア

外国船による日本発着の先駆者であるプリンセス・クルーズは2018年、オールシーズン運航を実施する。定番となった春の桜鑑賞クルーズや夏の花火、祭り鑑賞を始め、同一コースを連続して実施する横浜、名古屋、大阪の3港から乗下船可能なクルーズを実施する。このほか、明治維新150周年にあわせて、鹿児島や高知などゆかりの地に寄港するテーマクルーズも注目すべき航路のひとつだ。

乗客定員は2706人、6タイプの客室を用意している。

ダイヤモンド・プリンセス

セレブリティクルーズ「セレブリティ・ミレニアム」

スケジュール　2018年4月15日～25日、9月30日～10月12日
寄港地　横浜、清水、神戸、高知、広島、長崎、釜山、函館、青森

ロイヤル・カリビアン・インターナショナル（RCI）は2018年もプレミアムブランドのセレブリティクルーズによる日本発着クルーズを実施する。2017年の商品が好調だったことから2年連続で実施することになった。2018年クルーズは春と秋の2回実施。日本の四季をゆったりとした雰囲気で楽しむことができる航海となっている。

乗客定員は2158人。10タイプの客室を用意している。

セレブリティ・ミレニアム

ノルウェージャンクルーズ「ノルウェージャン ジュエル」

スケジュール　2018年4月28日～5月6日
寄港地　横浜、高知、那覇、石垣島、基隆

欧州やアラスカ、ハワイなどのクルーズを展開しているノルウェージャンクルーズが、2018年にチャータークルーズながらも、初の日本発着クルーズを展開する。今回は横浜から太平洋側を南下。ゴールデンウィークに日本のオーシャンリゾートを満喫できる内容となっている。船内は「フリースタイル・クルージング」がコンセプト。好きな時に好きな料理が楽しむことができたり、スライダー付きのプールも用意。幅広い年代が楽しめるサービスが満載だ。

乗客定員は2346人、客室は10タイプが用意されている。

ノルウェージャン ジュエル

MSCクルーズ　MSC Cruises

最新鋭のMSCメラビリア就航 2018年には初の日本発着クルーズを実施！

躍進するMSCクルーズ

最新鋭のMSCメラビリア

クルーズは窮屈で高額なものというイメージを一新し、ハネムーナーやファミリー層にも人気の高いMSCクルーズ。初の日本発着クルーズの実施に合わせ、クルーズ未経験者に向けて訴求を図りたい。

魅力的な新造船が就航！

日本でも高い人気を誇るMSCクルーズ。地中海クルーズへ出かける日本人乗客のうち、およそ半数が同社のクルーズ客船に乗船していることを考えると、その人気の高さが理解できるだろう。日本でクルーズといえば、これまでは「窮屈」「高い」というイメージが強く、実際にシニア層が中心の旅行スタイルだった。しかし最近では、卒業旅行やハネムーン、ファミリー層なども参加するようになってきた。その一役を担っているのが、MSCクルーズなのだ。カジュアルで堅苦しさを感じさせない船内の雰囲気、フレンドリーなサービスを提供するスタッフ、地中海クルーズでは日々異なる文化に触れたり、世界遺産を巡る魅力的なコース設定、そしてリーズナブルなクルーズ代金と来れば、当然ともいえる結果だ。

さらに加えて、船上ではハネムーナーや結婚記念日に向けた特別なサービスも用意している。洋上で過ごす記念旅行を、よりロマンティックに迎えてはどうだろう。

そして今年6月。MSCクルーズにとって、13隻目となる最新鋭船「MSCメラビリア」が就航した。総トン数17万1598トン、乗客定員5714名という巨大な船体の中には、クルーズ・バカンスを楽しむためのハードとソフトが数多く設けられている。その一部を見てみよう。

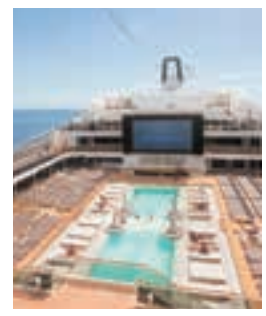
96mにおよぶプロムナード

船体中央に設けられたプロムナードは、魅力的なブティック、レストランが軒を連ね、まるでヨーロッパの街中にいるかのような雰囲気を持つ。ぜひ注目して欲しいのが、プロムナードの天井全体を覆う巨大なLEDスクリーンだ。ここにはシスティーナ礼拝堂をはじめとする世界の建物の天井の風景や、飛び立つ宇宙船からから外を眺めているようなシーン、季節のイベント、日の出や夕日そして星空といった自然の光景など、最先端技術によって感動的なシーンが映し出され、それ自体をひとつのイベントとして楽しめる仕掛けが設けられている。

個別に情報管理できるアプリ「MSCフォー・ミー」

船内でのナビゲーションや寄港地観光をプレビュー体験したり、事前に参加したいプログラムなどを登録し案内してくれるオーガナイザー機能などを提供する。一人ひとりに合った情報管理を行えるのが、まったく新しい発想の「MSCフォー・ミー」だ。

3種類のエレガントなプール



デッキ15のメインプールは約25mの長さで、夜は特殊な照明でライトアップされる。プールサイドはクルーズ客船として最もゆったりとしたスペースを持つ。また、寄港中や天候により開閉できるマグロドーム付きの屋内プールも備えている他、デッキ16のホライズンプールでは、船尾から壮大な景色を眺めることができる。

MSCアウレア・スパ

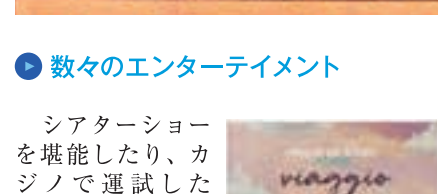
バリ風リラクゼーション・トリートメントで、身体と心をリフレッシュできる。22室のマッサージルーム、サーマルスパ、ビューティーサロン、そしてネイルブティックを備え、多彩なトリートメントメニューが用意されている。

すべての年代に向けたアミューズメント

小さなお子様からティーン、そして家族そろって楽しめるエンターテイメント施設が充実しているのも、MSCメラビリアの特徴だ。年齢ごとに分けられたキッズクラブには、経験豊富なスタッフがそろっているので、夫婦だけの時間を過ごすこともできる。

多種多様なレストラン

イタリア船だけあって、食にはこだわりを持っている。メインダイニングでは地中海料理、そして20時間オープンのビュッフェでは、ピッツァやハンバーガーなどの軽食類のほか、ハムやサラミ、船上で作られる出来たてのモッツァレラチーズも楽しめる。



また船内には日本食・アジア料理を提供する「海渡寿司バー&鉄板焼きレストラン」をはじめ、特選イタリア料理「イータリー」やステーキハウス「ブッチャーズカット」など、全部で12種類のレストランがあり、飽きることなく、グルメを堪能できる。

数々のエンターテイメント

シアターショーを堪能したり、カジノで運試したり、ディスコで夜更かしたり、生演奏をバックにダンスを楽しむこともできる。またMSCメラビリアに設けられたカルーセルラウンジでは、MSCメラビリアのためだけに創作された「シルク・ドゥ・ソレイユ」のショー（有料）が週6日、1日2回上演される。このショーには、ドリンクや食事付きの限定プランも用意されているので、乗船後は早めの予約をアドバイスしたい。

そして、忘れてはならないのが「MSCヨットクラブ」というサービスだ。「船の中にある特別な船」というコンセプトの元、このカテゴリーの乗客専用のジャクジーやダイニング、ラウンジが設けられた空間となっている。プライバシーが保たれるほか、同じ船内にあってもワンクラス上のサービスが提供されるのだ。その他、優先チェックイン&チェックアウト、24時間対応のルームサービスとコンシェルジュ&バトラーサービスなど、たくさんの専用サービスも用意されている。喧噪を離れ、ゆったりとした空間で過ごすことがお好きなお客様に提案してみてはどうだろう？

日本発着クルーズで魅力を再発見

MSCクルーズは地中海を中心に、北欧、カリブ海、ドバイやアブダビといった中近東、南米、南アフリカでのクルーズを実施している。

そして2018年、MSCクルーズジャパンの設立10周年という記念すべき節目に合わせ、ついに初の日本発着クルーズが運航される。「MSCスプレンディダ 日本の美を再発見する10日間」と名付けられた同クルーズは、5月6日（日）に横浜を出港し、津軽海峡を抜け日本海へと向かう。そして伏木～金沢～舞鶴～釜山～鹿児島～高知に寄港し、5月15日（火）に横浜へと戻ってくるコースだ。いずれの寄港地も観光地として有名なため、お客様の中には訪れたことのある方も多いかもしれない。しかし、海から訪れた経験を持つ方は少ないだろう。海に向かって開けた港町は、海側こそ表玄関という見方もできる。だからこそ海から訪れ、これまで気付くことのなかった日本の魅力を知って欲しい。今回の日本発着クルーズは、それを知る良い機会になるに違いない。

また1回の旅行で、金沢と鹿児島や高知を順番に訪れることができるのも、クルーズならではの醍醐味といえる。陸路はもちろん空路でも、荷物のことを考えれば大変な旅行になることは目に見えているからだ。こうした観光地を順番に訪れることで、改めて日本の魅力に気付くこともあるだろう。まさに、日本再発見の旅なのだ。

なお気になるクルーズ代金は9万8000円～と、非常にリーズナブルに設定された。クルーズに興味はあるが二の足を踏んでいたお客様には、ちょうど良い日程と代金といえる。

同クルーズを実施するのは2009年に建造された「MSCスプレンディダ」で、総トン数13万7936トン、乗客定員4363名という同社にとって最大級の客船だ。客室は1637室あり、うち76%がバルコニー付きキャビンとなっている。また日本人客に高い人気を誇る「MSCヨットクラブ」も、他のMSCの最新鋭客船と同様に設けられている点も嬉しい。日本発着クルーズで、イタリア客船の魅力を堪能したい。フレンドリーさに定評のあるMSCクルーズのクルーは、笑顔で出迎えてくれるだろう。

そしてクルーズ客船なら、身体にハンディキャップをお持ちの方でも日本周遊の旅が楽しめる点を強調したい。MSCスプレンディダにも車椅子に対応した客室が用意されており、また船内は、国際的アクセシビリティの基準を満たす設備が整っているため、安心して旅を楽しむことができる。

なお日本発着クルーズはすでに予約を開始しており、上級客室を中心に好調な売れ行きを見せている。そのため、お客様が希望する客室カテゴリーをお持ちならば、早期の予約を勧めたい。

日本でも人気の３日間クルーズやアジア区間クルーズも実施

2018年のクルーズはキュナードから

ロンドンの劇場を思わせる三層吹き抜けの劇場。洋上では唯一のボックスシートを備えた「ロイヤル・コート・シアター」。

177年の歴史を持つキュナードは、その伝統と格式を今日に継承する「クイーン・メリー２」「クイーン・エリザベス」「クイーン・ヴィクトリア」の３隻の客船を運航し、世界中のクルーズファンから注目を集めています。

日本では100日以上の旅程で行うワールドクルーズのイメージが強いのですが、キュナードは３日間や４日間、そして７日前後のクルーズを多数実施しています。クルーズ日数が短くなれば、日程的に参加しやすくなるほか、クルーズ代金自体もお手頃な価格となります。

2018年のワールドクルーズでは、クイーン・エリザベスとクイーン・メリー２がアジア域内での区間クルーズを実施します。これらアジア区間クルーズは、ヨーロッパまで行かなくてもキュナードのサービスの真価に触れることができる、と多くの方から好評をいただいております。日本とも近いため、航空運賃を含めたトータルの旅行代金も安価に抑えられ、日本人乗客のもっとも多い区間です。そのためグループ旅行としての集客も大変好調です。さらにクイーン・エリザベスには日本人スタッフが全区間乗船するほか、クイーン・メリー２も日本人スタッフが乗船する区間をご用意。船内新聞やレストランのメニューなど各種案内を日本語でご提供いたします。

キュナード随一の伝統的なボールルーム「クイーンズ・ルーム」。船長主催のパーティーからアフタヌーンティー、夜はダンスホールに。さまざまなイベントが楽しめる社交場。

また2018年３月30日＆31日には、香港においてクイーン・エリザベスとクイーン・メリー２がランデブーを果たします。現地ではさまざまな記念イベントも予定されていますので、この機会にキュナードの船旅をプロモートしてみてはいかがでしょう。

クイーン・メリー２とクイーン・エリザベス

2018年３月に香港でランデブー

クイーン・エリザベス

●2018年３月22日～３月31日　大阪～香港 ９日間　214,000円より

●2018年３月31日～４月４日　香港～シンガポール ４日間　68,000円より

クイーン・メリー２

●2018年３月23日～３月31日　シンガポール～香港 ９日間　163,000円より

●2018年３月31日～４月５日　シンガポール～香港 ６日間　97,000円より

キュナード・ライン ジャパンオフィス

〒104-0061 東京都中央区銀座6-2-1 Daiwa 銀座ビル６階

Tel:03-3573-3766　www.cunard.jp

QUEEN ELIZABETH® QUEEN MARY 2® QUEEN VICTORIA®

CUNARD

コスタクルーズ Costa Cruises

夏は日本海、冬は太平洋、日本発着クルーズの通年運航を開始

新型客船で「すぐ行ける、ちょっと贅沢なクルーズ」をアピール

コスタ ネオロマンチカ

カジュアル船の気軽さに、日本海沿岸のコース、日本3都市から乗下船を可能にしたインターポーティングと、日本発着クルーズに新風を送り込み、新しい旅のスタイルを浸透させたコスタクルーズ。 2年目の今年も、これらの人気要素はそのままに、同社のハイランクの客船「ネオシリーズ」のアジア初配船や、外国船社で初となる通年運航など、その魅力に磨きをかけている。2018年上期商品もまさに今週発表される。販売機会が増えた同社の日本発着クルーズのポイントをまとめた。

クルーズの新需要を開拓 旅行者と旅行会社の 反響に手ごたえ

コスタクルーズ日本支社のトレードマーケティングスペシャリスト・阿左美智砂氏は、初年度となった2016年度を振り返り、「お客様はもちろん、旅行会社の皆さんにも喜んでいただけた」と、同社の日本発着クルーズの手ごたえを語る。

「海の上のイタリア」をコンセプトとするコスタクルーズは、イタリアらしい陽気な雰囲気と、13歳未満のクルーズ料金無料をはじめとするカジュアルクルーズのお得感で、日本人のファンが多いクルーズ会社だ。

この本来の魅力に加え、日本発着クルーズでは、5泊6日の短期間のコース設定でクルーズ旅行の敷居を下げ、旅行者が参加しやすく、旅行会社が販売しやすい商品としたのが特徴。さらに、従来の日本発着クルーズになかった日本海沿岸を周遊するコース設定や、九州、北陸、関西の3市場からの集客がしやすいインターポーティングの導入で、新マーケットを開拓に取り組んだ。

その結果、夏休みのファミリーをはじめ、クルーズ初心者を中心に幅広い客層の集客に成功。日本人のクルーズ客はシニアのリピーターが多いと言われるが、同社の日本発着クルーズでは「50歳以上でも、クルーズが初めての方が多い」と、まだまだクルーズ未経験者の多い日本市場の可能性を示す結果となった。同社では今後も、クルーズの新需要を掘り起こしていく方針だ。

2017年から通年運航を開始 下期は東名阪で発着設定

この実績を受け、コスタクルーズでは日本就航2年目から、通年運航を決定。同社にとって初の長期シーズンの販売だが、ゴールデンウィークや夏休みのピーク期に8～9割の稼働を記録するなど、好調に推移しているという。

縁日パーティの様子
（スタッフがお客様をダンスに誘う）

コースは、2017年4月26日～10月13日までが、日本海沿岸を基盤とする周遊クルーズ。昨年同様に博多、舞鶴、金沢が発着港の5泊6日クルーズを中心に、今年は東北や函館、海外は韓国の束草（ソクチョ）、ロシアのウラジオストクも寄港地に追加。コースのラインナップも、4泊5日から7泊8日まで拡充した。

初設定となる2017年10月20日からの下期は、船を太平洋側に移動。2018年1月27日まで東京と名古屋、神戸/大阪の3都市を発着地に、この季節でも過ごしやすい九州や沖縄方面での周遊クルーズを運航する。

鹿児島と済州を訪れる6泊7日と、那覇、宮古島、基隆（台湾）を訪れる8泊9日のコースを中心に、下期のハイライトである年末年始クルーズも設定。クリスマスイルミネーションの輝く東京と神戸を出発し、奄美大島や石垣島、基隆のほか、大晦日は那覇、新年は四日市に寄港し、熱田神宮などへの初詣を楽しめるなど、コース設定を工夫した。

2018年は日本海、太平洋交互運航 海外客も取り込み

さらに秋からは、2018年上期の商品販売を開始する。

日本発着クルーズ3年目となる2018年は、過去2年に比べて、より精度の高い販売を行っていくため、シーズンによって日本海クルーズと太平洋クルーズを交互に運航するスタイルを取り入れる。

メインダイニングでは和朝食も提供

ゴールデンウィークや夏休みなどのピークシーズンは日本海側を周遊する4～5泊のショートクルーズを十数本実施する。2018年はショートクルーズをハイシーズンに集中させることで、これまで以上にクルーズ初心者やファミリー層の取り組みを目指していく方針だ。

一方で、オフシーズンである3～4月、6月～7月前半、9月以降については、より市場の大きな東京・名古屋・神戸を基点に配船していく。クルーズ日程としては、6泊、7泊、8泊を組み合わせ、コースのバラエティを拡充していく方向で調整している。乗船客層としてはシニアを中心に取り込んでいく。また、2本以上のクルーズを連続乗船する方法で、海外からの乗船客にとっても魅力的なコースを用意していく予定。これにより、太平洋側クルーズでは全体の30％程度を海外客で構成していきたい考えだ。

販売手法については、市場が大きく、かつクルーズの浸透率も高い東京・名古屋・神戸発着ということもあり、オンラインでのプロモーションやラストミニッツ型の商品の展開など、より欧米のクルーズに近い販売方法も試していきたいとしている。

こうした取り組みにあわせて、日本支社の体制も拡充する。乗船地となる大阪と九州に支店を開設して、営業担当者を2名ずつ常駐させる。阿左美氏は「地域に支店を置くことで、船や旅行会社との距離が近くなる。きめ細やかな対応が可能となる」と話しており、支社体制の強化とあわせて、販売旅行会社の拡充も進めていく考えだ。

コスタクルーズならではの 満足度を高める仕組み

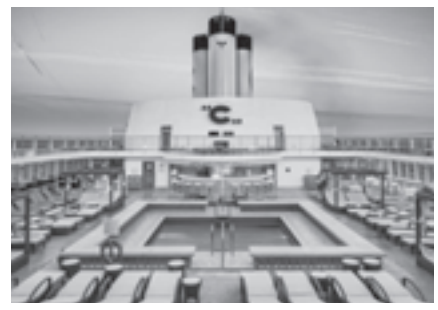
さてここからは、旅行会社が販売する上で知っておくべき、コスタクルーズならではの特徴を説明したい。冒頭で記載したように、旅行者と旅行会社の双方に喜ばれるポイントは何か。

阿左美氏がアピールするのは、満足度の高さだ。「今年の運航が始まって4ヶ月だがクレームが非常に少ない。旅行会社にとっても、クルーズ初心者にも、安心して販売できるポイントになる」と胸を張る。

これは、クルーの親しみやすい人柄とサービスの賜物だが、実はコスタクルーズが日本に持ち込んだインターポーティングも、大きく寄与しているという。

インターポーティング制のクルーズの場合、就航初日を除き、常に先に船内サービスを経験した乗客がいる。すると、初クルーズの人が船内施設を利用する際に他の乗客の振る舞いを確認できるので、不安を感じることが少なく、スムーズに行動しやすくなる。

例えば、乗船後すぐにプールデッキで寛いでいる人を見れば、「ああいう風に利用すれば良いのだ」と実感でき、ためらうことなくプールを利用できる。



プールデッキ
夏は縁日パーティなどデッキイベントが開かれる

毎晩開催される賑やかなパーティも、日本人は様子をうかがってから参加する傾向が強いが、他の乗客が積極的に楽しんでいれば、初めてでも恥ずかしがることなく参加できる。

このように、船内のサービス利用やイベント参加を積極的に行なう機会が提示されることで、コスタクルーズの魅力に触れられる。それがクルーズの満足度にも繋がるというわけだ。

コスタの魅力が引き立つ 「コスタ ネオロマンチカ」の 楽しみ方

今年の日本発着クルーズではもう一つ、重要なニュースがある。それは運航客船が、同社のなかでハイクラスと位置付ける新型客船「コスタ ネオロマンチカ」（約5万7000トン、最大乗客定員1800人）にグレードアップしたこと。「ネオシリーズ」のアジアでの配船は日本が初めてだ。

特徴は、カジュアルクルーズのサービスや価格はそのままに、船内の設備をワンランク上げ、ハードとソフトの両面でプレミアム感のあるクルーズを提供すること。同客船の視察に参加した旅行会社はもちろん、すでにクルーズに参加したお客様からも好評だという。

コスタ ネオロマンチカの場合、昨年の「コスタ ビクトリア」（約7万5000トン、乗客定員2394人）と比べると、スパ設備が拡充した一方で、大劇場（シアター）がなくなったのが構造的な違い。

ただしショーは、ダンスフロアを大きくとった「ビエンナキャバレー」や、「ピアッツアイタリアグランドバー」など、船内に複数あるラウンジで行なう。

船内中央ラウンジ グランドバー
華やかなショーや各種イベントが行われる

阿左美氏によると、「演者と観客との距離が近く、一体感が強まる」と、ラウンジだからこそ味わえるショーの魅力があるという。ショーの終了後は観客をフロアに呼び寄せ、盛り上がった雰囲気のままパーティイベントが始まることも。これも乗客に好評なのだという。

日本人が主流のクルーズだが、船内はイタリア人のオフィサーが行き交い、イタリアの街角を連想させる雰囲気が感じられるのも魅力。もちろん、ベニスの仮面パーティ「カーニバル・ベニス・パーティ」や、本格的な石窯で焼くピッツァなど、イタリアを実感できるイベントやサービスも多く提供される。

本格的な石釜ピザ

乗船客にはぜひ、積極的にパブリックエリアに出て、「すぐ行ける、ちょっと贅沢な海の上のイタリア」を楽しむことを勧めたい。

コスタ ネオロマンチカで航く

お手軽日本発着

家族で、夫婦で、グループで！
初めてのクルーズは、コスタに決まり！

Costa
海の上のイタリア

コスタクルーズ

乗ったらそこはイタリア！
日本でできるイタリア旅行！

Bravo!

子ども
［13歳未満のクルーズ代金］
無料！*

*大人2名と同室の13歳未満のお子様は2名までのクルーズ代金が無料。港湾税（全員分）と船内チップ（4歳～12歳）は必要です。

5泊6日 金沢発着

2016年「クルーズ・オブ・ザ・イヤー」グランプリ受賞

古都と城下町を巡る麗しの日本海と釜山

【出港日】2017年9月3日（日）・8日（金）・13日（水）・25日（月）・30日（土）
10月5日（木）

日次	寄港地	入港	出港
1	金沢		18:00
2	境港	8:00	17:00
3	釜山　韓国	9:00	19:00
4	福岡	8:00	16:00
5	舞鶴（京都）	13:30	22:00
6	金沢	8:00	

〈夏割〉8月31日までのご予約に適用されます。

¥50,800～

※〈夏割適用時〉9月30日出港内側クラシック2名1室利用時のお一人様クルーズ代金。
別途港湾税とチップが必要です。

8泊9日 東京発着

早期割引 最大30%off
※2017年8月31日までのご予約に適用

南国エスケープ！ 沖縄・台湾あったか島めぐり

【出港日】2017年10月20日（金）、11月3日（金）・17日（金）
2018年1月3日（水）・11日（木）・19日（金）

日次	寄港地	入港	出港
1	東京（晴海ふ頭）		16:00
2	名古屋	8:00	15:00
3	終日クルーズ		
4	那覇	11:00	17:00
5	基隆（台北）　台湾	13:00	21:00
6	宮古島	11:00	18:00
7	終日クルーズ		
8	終日クルーズ		
9	東京（晴海ふ頭）	8:00	

¥81,800～

※〈早期割引適用時〉10月20日出港内側クラシック2名1室利用時のお一人様クルーズ代金。
別途港湾税とチップが必要です。

2018年 春・夏・秋 日本海周遊クルーズ間もなく発表！

コスタクルーズ日本支社
東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル4階
www.costajapan.com

お問い合わせ・お申し込みは ▶▶▶ お近くの旅行会社まで

株式会社ターミナル　Terminal, Inc

I N T E R V I E W

古内東子デビュー25周年を記念した香港スペシャルクルーズ

ー忘れられない特別な旅ー
プレミアム客船にて香港周遊の旅と、洋上でのスペシャルライブ

2018年２月にデビュー25周年を迎えるシンガーソングライターの古内東子さんに今回の企画について語っていただきました。

節目の年に、特別な場所で特別なことができればいいなと思っていたところ、ご縁があり、念願の船上ライブが実現できることになりました。

ターミナルのクルーズコンセルジュと相談しながら、航路と船を選び、ライブを行う場所や食事のメニューにもこだわっています。香港は温暖で気候もよく、食事が美味しいのが魅力。私の曲を聴いてくださっているのは、仕事や子育てに忙しい日々を送っていらっしゃる方が多く、週末を利用して出掛けられる短期クルーズなのもうれしいですね。ワールドドリーム号は、2017年11月就航予定の新造船だそう。新しい船に乗船できるのも楽しみです。

今回は２泊３日をみなさんといっしょに船上で過ごせる、またとない機会。みなさんそれぞれの歩んで来た年月をお聞きし、曲にまつわる想い出やお好きな曲をお伺いできたりしたら、すごく幸せだなと思っています。普段のライブでは得ることのできない、貴重な体験が出来るのではないかと期待しています。

アジア初のプレミアム客船でレストランも施設も多彩、ショースペースもいろいろあるのですが、船上ライブならぜひ海の見える場所でと考えています。海に沈む夕陽を眺めながらロマンティックな曲を、満天の星空の下では盛り上がる曲を、と選曲を考えながらわくわく。みなさんによろこんでいただけるよう、張り切っています。ショーを提供する立場ではありますが、私もいっしょに楽しめるようなアットホームな雰囲気のクルーズ旅になればと思っています。

古内東子 プロフィール

シンガーソングライター。1972年東京生まれ。上智大学在学中、93年にシングル「はやくいそいで」でデビュー。96年、シングル「誰より好きなのに」とアルバム『アワーグラス』が大ヒットを記録。都会に生きる女性の切ない恋心を描き“恋愛の教祖”としてカリスマ的人気を得る。97年、アルバム『恋』で第39回日本レコード大賞アルバム賞を受賞。98年、アルバム『魔法の手』はオリコン・アルバムチャートで初登場1位。都会的なサウンド＆恋心を細やかに綴る詩の世界が幅広い支持を得る。

Toko Furuuchi

斬新な企画力で、クルーズ世界の新しい扉を開く！

海外旅行に飽きた人たちへ。
人と人との出会いに、クルーズという場を提案する、それがターミナル。

ターミナルの強みは“企画力”。
斬新な発想と情報力でクルーズ人口の底上げを目指す

ターミナルは「海外旅行に飽きた人たちへ。出会いと再発見の旅にクルーズという選択肢を」をコンセプトに、まだまだ開拓余地のあるクルーズ人口の底上げを目指すべく、2011年に設立されました。企業ＰＲを手掛ける系列会社「トレイン　トラックス」の人脈、情報力と、クルーズ業界のプロフェッショナルの長年の経験をもとに、さまざまな企画を提案しています。

たとえばミシュランガイドで三ツ星を獲得した京料理の名店と、豪華客船“シーボーン”のコラボレーション企画は今年で４回目。回を追うごとに参加者が増え、ツアーの内容も充実しています。和食の最高峰×世界のスモールラグジュアリーシップのコラボレーションが実現したのは、シーボーンクルーズ社の日本地区代表のセールスパートナーとして、国内における販売ライセンスを取得している弊社だからこそ。また、よしもとの美容番長・シルク姐さんのべっぴん塾クルーズでは「美容」に特化し、船上やカリブ海のビーチでのエクササイズレッスンを行いました。大手ファッション通販メーカーのクルーズでは、創立３０周年を記念して顧客の方々をご招待。１万７千通あまりの応募があり、知名度アップと新規顧客開拓に広がりました。

ビジネスシーンのクルーズ活用で
クライアント様の願いが叶う

弊社ではクルーズのＭＩＣＥ（ビジネストラベル）利用をご提案しています。旅としてのクルーズだけでなく、会議室、研修施設、セミナーやイベント会場として。またブランドの展示会や新商品発表会としての利用もできます。有名ブロガーなど、インターネット上で強い影響力を持つ“インフルエンサー”たちを招待した、クルーズによるＰＲの仕掛けも計画中です。

そして弊社のもうひとつの強みは、バリエーション豊かな船の扱い。ラグジュアリークラスの“シーボーン”、140年の伝統と歴史を持つプレミアムクラスの“ホーランドアメリカライン”、カジュアルクラスの大型船“ノルウェージャン・クルーズ”という３つのクラスの船を扱い、それぞれの特徴を生かした企画を提案しています。シンガポール、香港、台湾発着を中心に２泊３日のショートクルーズが可能な“スタークルーズ＆ドリームクルーズ”は、アジア人の好みを熟知したホスピタリティとアジアンテイストの食事が人気です。秘境のリバークルーズ“バンダウ・クルーズ”や、水蒸外輪船によるミシシッピー河の航行という、古き良きアメリカを体験できる“アメリカン・スチーム・ボートカンパニー”など、ベテランクルーズ旅行者からクルーズ旅行初心者まで満足できるラインナップが自慢です。

株式会社ターミナル
久保下 嘉代 氏

旅行業界の垣根を越え
ネットワークを活用した、アライアンス旅行事業を始動

来年の２月には、シンガーソングライター、古内東子さんのデビュー25周年を記念して、プレミアム客船“ワールド・ドリーム”でのスペシャルライブ＆カクテルパーティを企画しています。このツアーは、弊社のアライアンス旅行企画事業の第一弾となります。古内東子さんが所属する芸能事務所のマチュアー・フィルムズアンドミージュック、募集型企画旅行会社のクロノス・インターナショナルとのアライアンスで、マチュアー・フィルムズアンドミージュックにとっては、古内東子ファンにスペシャルな体験を提供するファンサービスに繋がり、クロノス・インターナショナルにとっては多様化する顧客の旅行ニーズへの対応に繋がるものです。

ターミナルでは今後もウエディングクルーズ、英会話スクール×クルーズなど新しいクルーズ旅の提案をしていく予定です。

「クルーズとはこういうもの」という規定の枠組みを崩して、新しいスタイルを作りたいと思っています。どの業界の方にとっても、「クルーズ」は身近に活用できる商材であることに気づいていただきたい。さまざまな業種の方をクルーズで結びつけ、旅行業界に新しい旅の提案ができればと考えています。

ターミナルが手掛けたクルーズ旅行の企画プロデュース

ターミナルでは、ラグジュアリー船、プレミアムクラス船、大型カジュアル船の特性を生かし、さまざまな航路で斬新なクルーズを企画している。

ミシュラン三ツ星和食の名店×豪華客船シーボーンのコラボレーション

京料理の真髄を受け継ぐ和食の名店の味を、最高級客船“シーボーン”で楽しむという贅沢な企画。地中海クルーズ、カリブ海クルーズと回を重ね、今年で４回目。オーナー料理人自らが腕を振るう極上の料理が話題を呼び、年々参加者が増えている。

人気ジャズピアニスト木住野佳子さんと20周年の記念洋上ライブ

ジャズピアニストであり作曲家でもある木住野佳子さんのデビュー20周年を記念して、洋上ライブ・クルーズを企画。ファンの方々が多く参加し、西海岸を巡る８日間の航路で２回のジャズピアノ演奏、最終日はパーティ形式のライブを実施した。

よしもと美容番長シルク姐さんとカリブ海を巡る、べっぴん塾クルーズ

船上のべっぴん塾レッスンをはじめ、カリブ海ビーチでのエクササイズなど「美」に特化したクルーズを企画。企業協賛を得て、クルーズオリジナルのエクササイズウエアやグッズをプレゼントするなど、多彩な試みもターミナルが発案。

レディース通販メーカーの創立30周年企画。顧客招待のファッションクルーズ

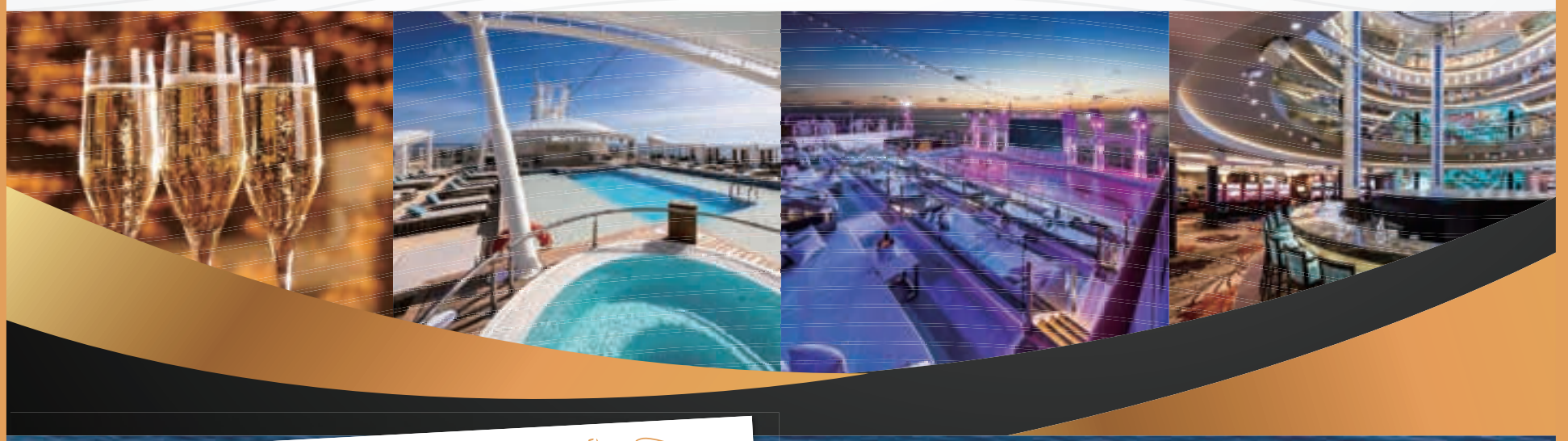
創立記念の企画として、顧客をシンガポールのクルーズ旅に招待。商品のドレスをプレゼントし、洋上撮影会を実施。ほとんどがクルーズ初体験という方々にクルーズの魅力を知ってもらうきっかけになり、商品のPR効果、販路拡大に繋がるツアーとなった。

極上のラブソングたちが海風に乗って空に響く夜

Starry Night Cruise with Toko Furuuchi

February 22～25, 2018 two nights and three days cruising

古内東子デビュー25周年を記念して、プレミアム客船ワールド ドリームにて
香港周遊の旅と、洋上でのスペシャルライブ&カクテルパーティーを企画しました。
忘れられない特別な旅に、古内東子さんと一緒に出掛けませんか?



旅のプロのみなさまへ

LET'S GO TRAVEL

クルーズを活用した企画は無限大です。
そう、もはやクルーズ（洋上ライフ）は憧れ＆遠くにあるものではなく、
ホテルやレストラン、結婚式場などと同じ位置づけにあるのです。
まだまだ活用方法が広く知られていないからこそ、
ビジネスチャンスがあるとも感じています。
旅行のプロである皆さまを頼られる企業様が沢山いらっしゃいます。
クライアント様が喜ばれる新しい提案を、一緒に創っていけたら嬉しく思います。
是非、私たちクルーズコンシェルジュにお気軽にご相談ください。

ターミナル　クルーズコンシェルジュ　久保下嘉代

旅のプロのためのクルーズ相談室

経験豊かなスタッフが商品造成をお手伝いします

～TRAVEL & TOURISM～

株式会社 ターミナル

〈担当：久保下嘉代 / スケンデル真希〉

03-5738-4161　info@terminalcruise.jp

旅行会社専用URL

www.terminalcruise.jp/cruises/agent/

旅行会社に聞く

クルーズ商品のトレンド、戦略は？

旅行会社3社の担当者に聞く

（株）PTS
JTB PTS クルーズラウンジ横浜
店長　**富樫 菜穂子**氏

クルーズの楽しさと手軽さをアピール

今年4月、そごう横浜店9階に「クルーズラウンジ横浜」をオープンしたのは、敷居が高いクルーズのイメージを払拭し、カジュアルに楽しめる魅力をアピールすることで首都圏エリアの客層を拡大していくためです。オープンな雰囲気で誰でも気軽に来店してもらえるオールクラスター向けのカジュアルな店舗を目指しました。日本の旅行会社として初となる「プリンセス・クルーズ専用デスク」を設けたのも、人気が高い日本発着の外国船クルーズの代表格であるプリンセス・クルーズを前面に打ち出すことで、気軽で楽しいクルーズ体験の存在を多くの人に知ってもらうためです。

都内の本社内にあった販売拠点を横浜に移した形ですが、以前は平日の18:00までの営業だったのに対し現在は年中無休で20:00まで。その結果、これまで顧客化できていなかった新規の取り込みにも効果があり、若い年齢層を中心とする新規顧客層が受注全体の2割を占めています。

クルーズ初心者には専門店という安心感もあるようです。2名のクルーズ・マスターを筆頭に、クルーズ・コンサルタント資格保有者が多く在籍しており、全員が専門家として詳しく説明できます。ひとくちにクルーズと言っても家族で楽しめるもの、外国船でも日本人コーディネーターが乗船しているものなど、幅広い選択肢があることを理解してもらい、需要の底上げにつなげていきたいと考えています。

現在の販売状況は外国船と日本船が半々で、外国船クルーズの8割が日本発着です。予想通りの状況ですが、クルーズの醍醐味を味わえる海外へのフライ&クルーズの取り扱いをもっと伸ばすような販促をしています。FITの問い合わせもあり、ツアーが人数割れで催行中止になったので個人として手配してほしいとか、英語に不安はないので個人でクルーズを楽しみたいなど、想像以上に問い合わせが多く、手応えを感じています。

外国船の日本発着クルーズは2018年商品が発売されており、引き続き予約好調です。今年の乗船客のうち3割が船上で来年のクルーズを予約されます。一度体験していただければお客様自身でリピートしていただけるわけです。日本船クルーズも順調ですが、人気コースが供給不足気味なのが心配な点です。

「クルーズラウンジ横浜」ではクルーズ販売の成功モデルを作り、他店にも広げていければと思っています。取り組みの一環として、たとえば7月29日には「クルーズフェア」を開催し、クルーズ旅行の専門家によるセミナーや、VRを使った客船内の疑似体験、クルーズ客船のペーパークラフト教室などを実施。クルーズを少しでも身近に感じ、その魅力に触れてもらえるように今後も工夫を続けていくつもりです。

近畿日本ツーリスト個人旅行（株）
船橋営業所
副所長　**村松 広輝**氏

普通の郊外店でも成長の余地あるクルーズ

旅行会社にとってクルーズ市場の可能性は非常に大きいものがあります。取り組み方次第でまだ伸ばせます。それも、ごく一般的な郊外店でも顧客拡大の余地が十分にあると思います。昨年10月に都心大型店から異動し船橋でクルーズに取り組んできた私自身の経験から、そう言えます。

船橋営業所はもともとクルーズの取り扱いが少なかったこともありますが、今年は昨年の十倍以上に増えています。クルーズを伸ばせた理由は2つあると思います。一つは視覚的にクルーズを大きく打ち出したこと。クルーズ・コーナーを作り、通りからよく見える場所に、船会社の協力で「プリンセス・ゲート」を設置し、クルーズを積極的に販売していることをアピールしました。パンフレットも以前は、お客様から尋ねられれば出すという形でしたが、現在は面取りして常時並べてあります。露出を目にして店に入ったという来店客も少なくありません。

もうひとつの理由は、クルーズ販売に及び腰になりがちな販売員に対し、困ったら専門家として私が助けるという体制をはっきりさせたことです。これで皆が安心して積極的にクルーズを販売できるようになりました。売るためのハードルが高く、販売に消極的になり、顧客も付かず、ますますクルーズから遠ざかるという負の連鎖を、まずは断ち切るのが重要でした。

顧客にとっての敷居も低くする必要がありました。船橋近辺の顧客は、日本発着クルーズの乗船場所が横浜というだけで二の足を踏んでしまいます。そこで今年年始には船橋発着のバス送迎つきでプリンセス・クルーズの横浜発着クルーズを商品化したところ好評を博しました。

実績が販売員の自信にもつながりました。店頭でクルーズのパンフレットを手に取っている来店客は、クルーズに興味があることが明らかなので、積極的に声掛けするよう販売員に指示しています。こうして積極的にクルーズを販売していく姿勢を店舗全体で高めて行ければ、クルーズ販売を倍増させることも可能です。今年は外国船の日本発着クルーズに関して3ケタの送客を目指しています。

売れているのは人気上昇中の外国船の日本発着クルーズだけではありません。日本船も売れています。飛鳥Ⅱの国内クルーズなどは、40代のファミリーなど子供連れの客層に人気です。やはりクルーズ初心者には日本船が安心な心理もあります。

クルーズは外国船、日本船、フライ&クルーズなど多種多様で船の内容もさまざま。顧客が求めるクルーズもそれぞれ異なります。今後はそれをうまくマッチングさせられる能力を販売現場として高めることで、クルーズの販売をさらに伸ばしていきたいと思います。

（株）エイチ・アイ・エス
関東海外旅行営業本部
関東業務事業部シニア・新規マーケット事業グループ
クルーズ企画・手配チーム
チームリーダー　**石原 道啓**氏

クルーズを使った新鮮な商品で次世代客を開拓

エイチ・アイ・エス（H.I.S.）では全国200店舗以上でさまざまなクルーズ商品を販売していますが、全店共通で力を入れているのは日本発着クルーズです。外国船を中心に、日本船は飛鳥Ⅱなどの取り扱いを始めています。フライ&クルーズ需要には、H.I.S.グループのクルーズ専門会社「クルーズプラネット」と連携した商品を中心に対応しています。

H.I.S.はクルーズの取扱いを毎年順調に増やしています。その中でも、クルーズの魅力と旅行会社ならではの企画力を融合できる日本発着のチャーター・クルーズには力を入れています。クルーズありきではなく、旅行者が望む旅、最良の旅行体験を提供するには、船旅が最適と考えられる内容ができるのがチャーターで、メインターゲットであるシニア層はもちろんのこと、敬遠しがちな比較的若い年代層を含む次世代客の開拓が狙いです。

たとえば今年8月12日実施の夏休みチャーター・クルーズ「徳島市 阿波おどり観覧と熊野大花火瀬戸内海クルーズ9日間」は、ダイヤモンド・プリンセス号を使い、徳島と三重の2大観光素材を満喫する内容ですが、陸路では時間的にも身体への負担的にも難しくクルーズだからこそ可能な行程です。出発日も、シニアだけでなく現役の次世代客も取り込めるよう、土曜発・日曜帰着にこだわりました。

本年はゴールデンウィークにもセレブリティ・ミレニアム号を使って行った「初夏を先取る石垣島・台湾と南国土佐の春を満喫するプレミアムクルーズ8日間」も大好評のうえ、満席で出航しました。

来年1月には飛鳥Ⅱを使ったチャーター・クルーズ「新春クルーズ　長崎・ハウステンボス」を実施します。日本船はカボタージュの必要がないので日程も手頃な3日間・12万9000円から、最長5日間までとし、現役世代の取り込みを図ります。H.I.S.グループの「ハウステンボス」で特別観光も楽しめる内容で、たとえば広大な園内のイルミネーションをバスツアーで見て回るコースや、チャーター・クルーズだけのディナーショーの開催などのオリジナルな企画が組み込まれています。

すでに7月に発売し販売好調。予約客の55%がクルーズ初心者で、H.I.S.にとっての新規顧客も多く、クルーズ商品で取り込みたい新たな客層にアプローチできているのは狙い通りです。

課題は店頭の販売スキルアップで、クルーズ販売の社内研修を随時実施し、コールセンターや取り扱いが多い営業所を重点的に行っています。また商品発表時には全国支店長会議で商品説明をし、社内イントラで情報を流すなど、クルーズ情報を全国で共有できるように取り組んでいます。

プリンセス・クルーズ　Princess Cruises

初心者にも乗りやすいショートクルーズ増設

5周年を迎え、さらに魅力を増した2018年日本発着クルーズ

2018年4月から2019年3月まで、初のオールシーズン運航を実施する2018年のダイヤモンド･プリンセスの日本発着クルーズ。運航期間が延びたことにより、季節感のあるコースが設定されたほか、初心者向けの5日間のショートクルーズから、リピーター向けの16日間ロングクルーズまで、バラエティに富んだコースを設定している。

ショートからロングまで、全21コース 横浜・名古屋・大阪発着 「陽気に沖縄･台湾9日間」にも注目！

2018年の日本発着クルーズは、4月から翌年3月（除く12月、2019年1月）までの期間に、全21コース･38出発日という初のオールシーズン運航で実施される。

初心者向けのショートクルーズとしては「ゴールデンウィーク･ショートクルーズ5日間」（2018/4/28発、横浜～関門海峡クルージング～釜山～関門海峡クルージング～神戸、9万7000円～）がお勧めだ。ゴールデンウィークを利用した日程と5日間という日程は、興味はあるがクルーズを体験したことがないゲストや、長期休暇の取りにくい現役世代にお勧めしたい。クルーズ代金もリーズナブルなため、ファミリー層にも魅力的である。

またショートクルーズのひとつとして、テーマ性を持たせて実施される「神戸港開港150周年記念！　ゴールデンウィーク･ショートクルーズ5日間」（2018/5/2発、神戸～釜山～神戸、9万7000円～）ではオリジナル記念グッズが、そして「明治維新150周年記念！幕末ゆかりの地と韓国6日間」（2018/6/3発、神戸～高知～鹿児島～釜山～関門海峡クルージング～神戸、9万7000円～）では明治維新150周年にちなんだトークセッションが予定されるなど、この機会に是非乗船したい。

オールシーズン就航により、季節感を感じられるコースが設定されている。例えば「春の日本海探訪クルーズと韓国8日間」（2018/4/13発、横浜～関門海峡クルージング～釜山～境港～敦賀～秋田～横浜、14万7000円～）では桜の名所を、「日本の夏！　竿燈･ねぶた･よさこい･阿波おどりに沸く周遊クルーズ･韓国12日間」（2018/8/4～、横浜～秋田～青森～境港～釜山～関門海峡クルージング～高知～徳島～横浜、25万7000円～）では日本の夏を彩る四大祭りを、そして「熊野大花火と夏の日本南国めぐり･韓国8日間」（2018/8/15発、横浜～清水～（熊野）～高知～関門海峡クルージング～釜山～八代～横浜、16万7000円～）では熊野の夏を代表するイベント大花火大会を船上から鑑賞することができる。

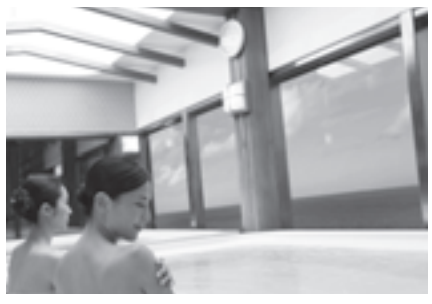
新寄港地として四日市、石巻、酒田、岩国、鳥羽、カイラン（ベトナム）が加わりコースバリエーションも豊富になった。また、人気の定番コースである台湾寄港クルーズや北海道･サハリンクルーズなどは引き続き実施される。

そして、注目コースが「陽気に沖縄･台湾9日間」だ。これは同一コースを連続して実施するもので、横浜発着（2018/11/5発ほか8出発日）の場合は横浜～名古屋～大阪～那覇～基隆～横浜で、名古屋発着（2018/11/6発ほか6出発日）では名古屋～大阪～那覇～基隆～横浜～名古屋、大阪発着（2018/11/7発ほか6出発日）では大阪～那覇～基隆～横浜～名古屋～大阪となる。それぞれ9日間（13万2000円～）が基本。各港とも5出発日以上のコース設定があるので、お客様は自分の都合に合わせて出発日を選べ、クルーズデビューにもおすすめ。

このように、ますますコースが充実し、出発日の選択肢が広がったダイヤモンド･プリンセスの2018年クルーズ。海外でも日本発着クルーズの人気は高まりつつあるため、お客様には人気のコースや客室は早めに予約を入れるよう、忘れずにアドバイスをしておこう。

プレミアムなサービスが人気の客船「ダイヤモンド･プリンセス」

日本発着クルーズに就航している「ダイヤモンド･プリンセス」（総トン数11万5,875トン、乗客定員2,706人）は、三菱重工長崎造船所で建造された日本生まれの客船だ。日本発着クルーズに就航するにあたり、日本のお客様がリラックスできるよう、船内施設やサービスを日本向けにカスタマイズした。船内にはアラカルトで刺身類や寿司が味わえる寿司レストラン「海」（Kai）や、洋上最大級の展望浴場「泉の湯」などを設置。また、メイン･ダイニングでは毎朝、洋食に加え、焼き魚や味噌汁、ご飯、香の物などからなる和定食も用意。ビュッフェレストラン「ホライゾンコート」でも、ご飯や味噌汁に加え、おそばやラーメンなども味わえる。



日本向けのサービスは食事だけではない。日本語が話せるスタッフは100名以上も乗船しており、日本語で船内放送や船内新聞、ダイニングやバーでのメニュー、その他案内を行っている。外国船でありながら、ゲストは言葉の心配もなくクルーズを楽しめる。

2018年でプリンセス･クルーズが日本発着クルーズを実施して5周年を迎える。2013年～2016年の4年間で、延べ18万人以上（プリンセス･クルーズ調べ）の乗客を迎え、年々、日本マーケットに合わせたサービスを提供してきた。プレミアム･ブランドのクルーズ客船としてゲストの満足度も高く、そのサービスを体験したゲストが、リピーターとして再び乗船することも多い。

また日本発着クルーズは、欧米からのゲストも多数乗船しており、また多国籍なクルーによって、船内にはインターナショナルな雰囲気が満ちており、非日常性が感じられる。そしてメイン･ダイニングをはじめとする各ダイニングやバーでは、国際的権威の美食協会「ラ･シェーヌ･デ･ロティスール」会員であるプリンセス･クルーズが提供する料理や、世界的に有名なカーティス･ストーン氏による特別メニュー、個性的なフレーバーが人気の「チョコレート･ジャーニー」などのメニューも味わうことができる。

インターナショナルクルーズもおすすめ

世界中の海で、プレミアムなサービスが高く評価されているプリンセス･クルーズ。氷河や野生動物などの大自然や絶景を堪能できるアラスカ･クルーズ、世界遺産や異なる文化と出会えるバルト海クルーズ、また高級リゾート地などにも訪れる地中海クルーズ、そして日本からも近いので参加しやすく、見どころも豊富なアジアクルーズなど、どのエリアもお勧めだ。いずれのエリアでもメイン･ダイニングでは日本語メニューを用意し、アラスカとバルト海クルーズでは日本語スタッフや日本語オプショナル･ツアー、そして船内イベントやスケジュールなど日本語にも対応した無料ウェブ･アプリ「Princess@Sea」などのサービスを提供する。

プリンセス･クルーズなら、文字どおり最高のバカンスが楽しめるだろう。

お得なキャンペーン実施中！

お得1 日本発着クルーズ早期割引特典

早期にご予約の上、予約金をお支払いいただいたお客様には、クルーズ期間中･ご利用の客室のカテゴリーに応じて以下の金額を割引きいたします。

客室カテゴリー		割引金額（1名当たり）2名1室利用
スイート、プレミアム･ジュニア･スイート、ジュニア･スイート、海側バルコニー	7泊以上	¥20,000
	6泊以下	¥10,000
海側	7泊以上	¥10,000
	6泊以下	¥5,000

※割引金額は、2人部屋を2名で使用した場合の1名当たりの割引額です（日本円表記）。
※1室1名利用の場合は、200%の割引額となります。
※1室あたり2名様までが対象となります。
※3～4名様で1部屋利用時の3～4人目は、対象外となります。
※早期割引適用後の予約者名／客室のカテゴリー／出発日／乗船地（区間クルーズの場合）の変更は、割引の対象外となります。

適用期間▶M809～M825は2017年11月30日（木）まで。M826～M841N、M905～M909Bは2018年3月31日（土）まで。※内側の客室は、早期予約割引対象外となります。

お得2 3～4人目無料キャンペーン

スイート（ファミリー･スイートを除く）、プレミアム･ジュニア･スイート、ジュニア･スイート客室をご予約のお客様は3～4人目のクルーズ代金が無料になります。

適用期間▶M809～M825は2017年11月30日（木）まで。M826～M841N、M905～M909Bは2018年3月31日（土）まで。

※3～4人対応の客室数及び、受入数に限りがありますので、予約状況によっては利用できない場合もあります。詳細は予約時にお問い合わせください。
※3～4人目無料キャンペーンの予約者名／出発日／乗船地（区間クルーズの場合）の変更は、割引の対象外となります。
※3～4人目はソファーベッドまたは折りたたみ式移動ベッドになります。事前リクエストはできません。
※クルーズ代金には食事代、宿泊代、移動代、エンターテイメント代が含まれます。租税、手数料および港湾費用、チップ、一部の有料施設･お食事代などは含まれませんので、別途お支払いいただきます。

お得3 キャプテンズ･サークル･メンバー（リピーター）割引

日本発着クルーズにお申し込みいただいた日本のキャプテンズ･サークル･メンバー（リピーター）限定で、客室カテゴリー、コース日数に応じてクルーズ代金を2,500円～10,000円割引いたします。※全コース対象。詳細はパンフレットをご参照下さい。

人生を、新体験しよう。

PRINCESS CRUISES

日本発着クルーズ5周年

夢のような時間を、ずっと。

ダイヤモンド・プリンセス　豪華客船の旅

外国客船による日本発着クルーズNo.1の送客実績*。2013年の初就航以来4年間で18万人以上のお客様にご乗船頂いています。

＊自社調べ（期間：2013年～2016年）

2018年4月28日（土）～5月2日（水）

ゴールデンウィークショートクルーズ　5日間

内側客室　**¥97,000～**

横浜発 神戸着

横浜 ≫ クルージング ≫ 関門海峡クルージング ≫ 釜山 ≫ 関門海峡クルージング ≫ 神戸

※表示の金額は、内側客室2名部屋を2名で使用した場合の1名あたりの代金です。※別途、1名あたりの料金で租税、手数料および港湾費用を申し受けます。※その他、詳細は旅行会社にお問合せください。

早めの予約がお得です。

❶ **早期予約割引：お一人様最大20,000円オフ！**
内側客室は対象外となります。

❷ **“3～4人目無料招待”をご利用可能！**
先着順・数量限定でご提供しています。
スイート、ジュニア・スイート客室のみが対象となります。

❸ **リピーターの方は表示の金額からさらにお一人様最大10,000円オフ！**

※それぞれ適用条件がございます。詳しくは旅行会社へお問合せください。

他にも、2018年4月～11月、2019年2月～3月の期間、台湾、韓国、ロシア、香港などへの寄港を含むさまざまな旅程・日程のコースをご用意しています。

ダイヤモンド・プリンセス　検索

豪華客船の旅が当たる。メルマガ登録キャンペーン実施中！

www.princesscruises.jp/campaign/regist2017